

●通報宛先電話番号記録欄

設定No.	項目	LOD表示	通報宛先電話番号
011	TEL1	TEL1-1	
012	TEL2	TEL1-2	
013	TEL3	TEL1-3	
014	TEL4	TEL1-4	
015	TEL5	TEL1-5	
016	TEL6	TEL1-6	
017	TEL7	TEL1-7	
018	TEL8	TEL1-8	
021	TEL1	TEL2-1	
022	TEL2	TEL2-2	
023	TEL3	TEL2-3	
024	TEL4	TEL2-4	
025	TEL5	TEL2-5	
026	TEL6	TEL2-6	
027	TEL7	TEL2-7	
028	TEL8	TEL2-8	



白通工株式会社

本社 〒213 川崎市高津区東野丁10番1号 電話(044)01-1111(代)

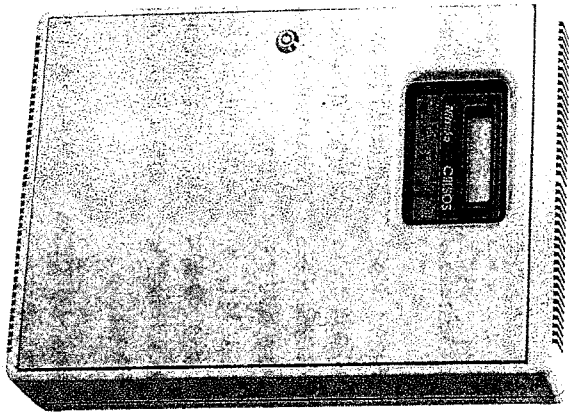
★注：お問い合わせや修理依頼の為に必ず記入ください。

品名	<b>コルマ C5-D6</b>	ご購入年月日 (設置年月日)	年	月	日
ご購入店名					
備考					

Nitsuko

電話非常通報装置

**コルマ C5-D6**



取扱説明書

白通工株式会社

# も く じ

## お使いになる前に

このたびは、電話非常通報装置（コルヌスCS・D6）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
コルヌスCS・D6をご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

## コルヌスCS・D6の概要

コルヌスCS・D6は、一般加入電話回線または構内交換機の内線に接続して使用し、この装置に接続されているセンサーなどの起動信号をうけ、所定の宛先に自動的にダイヤル発信を行い音声メッセージ（あるいはブザー信号）により非常事態の内容を告知する装置です。  
また、この装置への呼出しに対し、あらかじめ設定してある暗証番号をブザー信号で受けることにより、集音マイクによる臨場音聴取、スピーカ拡声（威嚇用）、外部制御機器を起動させる為の無電圧接点の駆動などのリモート制御機能を持っています。  
コルヌスCS・D6は設置時よりすでに待機の状態にありますので、装置に接続した各種センサーが動作しますと、直ちに通報動作を行います。したがって、通常は機器を操作する必要はありません。  
尚、お客様ご自身で通報先電話番号の変更、メッセージの変更を行う場合は、この取扱説明書を熟読の上お取り扱い下さい。

## 認定番号

S89-0112-0

## 安心してお使いいただくために

点 検	2
① 日常点検（お客様ご自身による点検）	2
② 随時点検	3
③ 定期点検	3
注意事項	4
① 電話回線に関する取り扱い	4
② 設置環境	5
③ 装置の電源	6
④ その他	6
おことわり	7
NTTへの届け出	9

## 本体各部の名称と働き

1. 通報先電話番号の変更の方法	10
2. メッセージの録音と再生の方法	11
各フリースにメッセージを録音する方法	11
メッセージを再生する方法	12
メッセージを消去した場合	12
登録メッセージ記録欄	13
3. センサー入力に対する告知メッセージの作成及び登録方法	14
4. 告知メッセージの変更及び追加の方法	15
5. 日常の運用について	16
制御コード表	17
6. コルヌスCS・D6日常の点検方法	18
接続図	19

## アフターサービスについて

電池の交換	20
-------	----

通報宛先電話番号記録欄	22
-------------	----

# 安心してお使いいただくために

コルノスOS・D6は、非常通報を目的とした装置であり、機器の性格上、確実な機能動作の保持が要求されます。しかし、一般の電話機とは異なり、日常頻繁に動作するものではありません。従いまして、いざという時の確実な動作を確保し装置を安心してお使いいただくためにも、日頃の点検がとても大切になります。

装置の品質につきましてでは万全を期しておりますが、ご使用にあたってはこの点を充分ご理解いただき、下記のとおり点検の実施をお願い申し上げます。

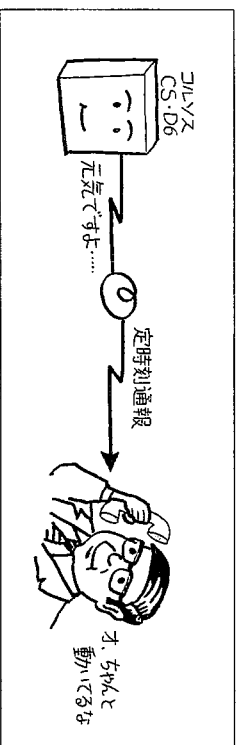
## 点 検

### ① 日時点検

コルノスOS・D6は、非常通報装置です。正常に動作運用されますよう、お客様ご自身による点検を必ず定期的に実施して下さい。チェックしていただくポイントは「コルノスOS・D6日時点検方法」(18ページ)のとおりです。

#### 1) 定時刻通報機能による通報試験

コルノスOS・D6には、指定した時刻に自動的に通報する「定時刻通報機能」があります。この機能を活用することによって、装置が正常に動作するかどうかを通報先で確認できますので、特別な事情がないかぎり実施して下さい。



\*注1：定時刻通報機能は装置本体の通報動作を確認するものです。装置に接続されたセンサ等の動作を確認する機能ではありません。

\*注2：定時刻通報機能を利用する場合は、装置へのデータ設定が必要です。設定方法についてはご購入店または取付工事店にご相談下さい。

### 2) センサ動作による通報試験

上記1)の試験確認に加え、実際にセンサを動作させて通報先へ通報がいかどうか確認して下さい。試験は定期的に(なるべく月1回程度の間隔で)実施していただくをお願いいたします。

### 3) 電源ランプ及び日付、時刻の確認

コルノス本体の電源ランプの点灯、及び日付、時刻が正しく表示されているかどうか確認して下さい。

### 4) 電源プログラムの確認

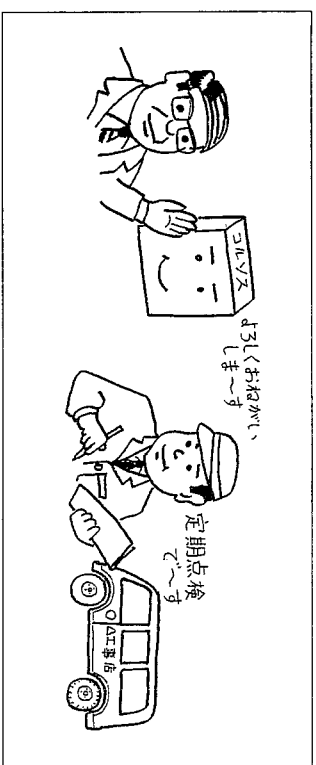
コルノス本体および各センサの電源プログラムがコンセンタに正しく差し込まれているか、また電源コードがコンセンタから抜けかかっているか確認して下さい。

### ② 随時点検

落雷、台風(強風、豪雨)、地震、電力会社等による電気工事、NTTによる電話工事、お客様がご使用の電話設備の変更(移設、新規電話設備の設置など)があった場合は、上記の点検を実施して下さい。

### ③ 定期点検

上記の他に配線状態や動作確認など、お客様の自主点検のみでは難しい部分もありますので、定期保守点検(有料)についてご購入店または取付工事店とご契約下さるようお願いいたします。

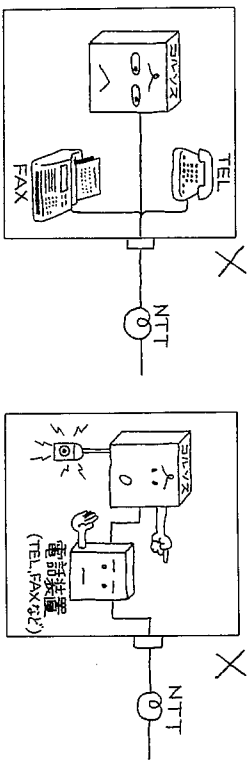


## 注意事項

### ① 電話回線に関する取扱い

#### 1) 電話機・FAX等の接続、装置の移設・増設

●装置と同じ電話回線に、電話機やFAX、回線選択アダプタなど、他の電話装置をフロンチ接続（親子接続）したり、工事説明書の指定以外の方法で接続すると装置の正常な動作が妨げられます。絶対にそのような接続をしないで下さい。  
また、装置の移設・増設を実施される場合は、ご購入店または取付工事店にご相談下さい。



コルヌスと他の電話装置がフロンチ（親子）接続されている

コルヌスの前方（回線側）に他の電話装置が繋がっている

#### 2) 回線種別の変更

●装置が接続してある電話回線の契約（ダイヤル回線／フロンチ回線）を変更した場合は、装置のメーカー設定変更が必要です。このようなときは必ずご購入店または取付工事店にご連絡下さい。

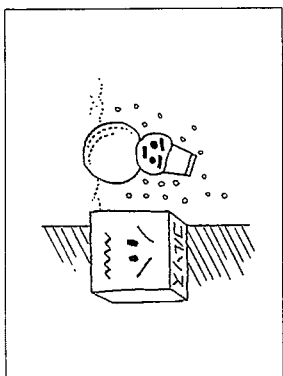
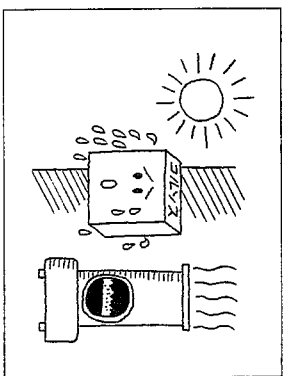
●ビッド回線、ISDN回線への直接の接続は避けて下さい。

### ② 設置環境

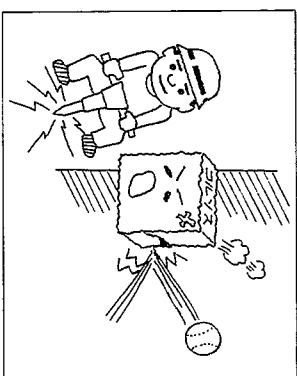
装置の正常な動作を保持するため、次のような場所への設置はお避け下さい。

（適用設置環境：温度0℃～40℃、湿度45%～85%）

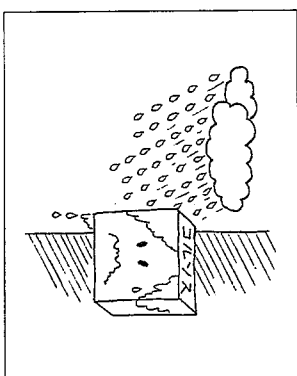
- 1) 直射日光、暖房設備などで高温、多湿になる場所。
- 2) 著しく温度の低下する場所（冷蔵庫内など）。



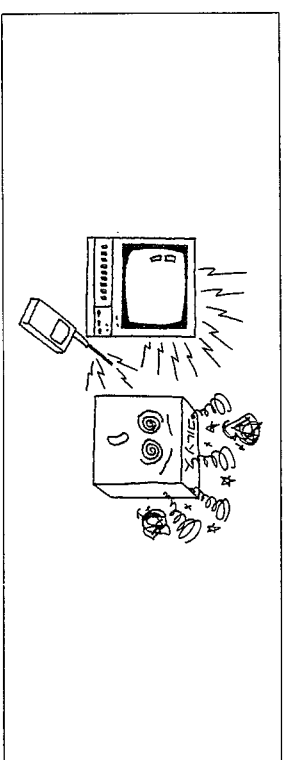
- 3) 振動、衝撃のある場所。



- 4) 冠水、薬品類のかかる恐れのある場所。



- 5) 通行、物の出し入れ、保守点検作業に支障のある場所。
- 6) 溶接機、高周波ミシンなど、電氣的ノイズを発生する場所。
- 7) ラジオ、テレビなど、高周波信号を扱っている機器に近い場所。



この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると受信障害の原因となる場合があります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## NTTへの届け出

- 使用に際しては、NTTの接続請求書受付センターへの届け出が必要ですが、添付の「端末設備接続(変更)請求書」のはがきに必要な事項をご記入のうえ、切手を入れて郵送して下さい。

**端末設備接続(変更)請求書**

日本電信電話株式会社 殿

契約者氏名  ※1

下記のとおり端末設備を設置するので提出します。

記

1. 端末機器を取りつける電話番号  ※市外局番からはつきりお書きください。

2. 端末機器を取りつける場所(住所)

〒	区 町 区
郵便 府県	市 街 区

3. 端末機器名等(新設又は変更後)

番号	機 器 名	適合認定・型式指定番号等

4. NTTからの連絡先

ご 連 絡 先	☎ (                    )
工事担当者名	☎ (                    )
* 連絡先	☎ (                    )

\* 工事担当者が必要な工事を行う場合に記入する。

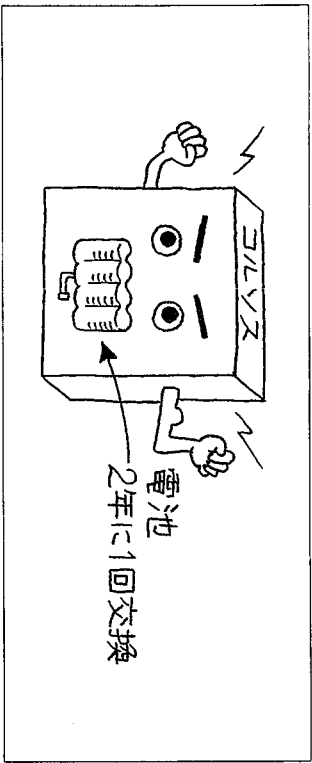
## ③ 装置の電源

- 常時電源が供給されるよう、24時間常時電源(AC100V)が供給されるコンセントに装置を接続して下さい。

## ④ 電池の交換

装置には、停電時も一定時間は通話動作が行えるように、充電電池が実装されています。電池寿命は約2～3年ですが、確実な停電動作を保持するために2年毎に交換して下さい。

なお、交換方法については「電池の交換」(20ページ)をご覧ください。



## ⑤ その他

- 指定以外のヒューズは絶対に使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
- 装置をカブリン、ペンジン、シンナー等の薬品で拭かないで下さい。
- 装置の扉は、通常必ず施錠して下さい。
- 通報宛先として「110」「119」番は設定しないで下さい。
- 耐用年数を過ぎての使用は不安定な動作につながる可能性があります。耐用年数は設置環境、使用頻度等により異なりますが、定期点検時にご購入店にご相談の上、早めの取替えをお願いいたします。

## おこわり

本装置は事故の発生を防止するものではありません。従いまして、万一事故が生じ損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

### ※1: 契約者氏名

NTTに契約申込みをしたときの契約者(名義人)です。(通常は世帯主です。)必ず、なつ印して下さい。

### 1.: 端末機器を取付ける電話番号

電話番号をきれなく記入して下さい。

### 2.: 端末機器を取付ける場所

住所を記入して下さい。

### 3.: 機器名と認定番号

次のように記入して下さい。

番号	機 器 名	適合認定・型式指定番号等
①	コルピスOS-D6	S 09-0112-0

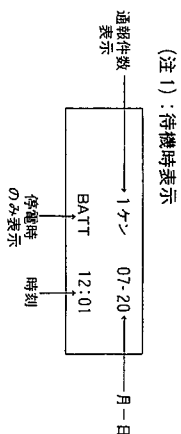
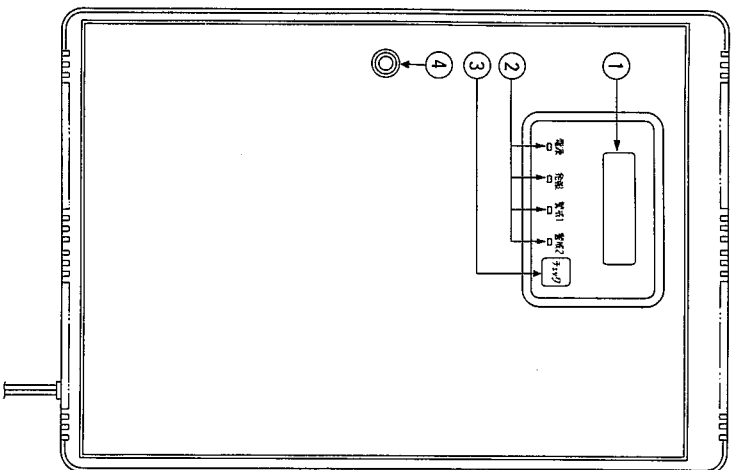
### 4.: NTTからの連絡

実際に利用されている方で、NTTからの問い合わせに應對する方の電話番号を記入して下さい。

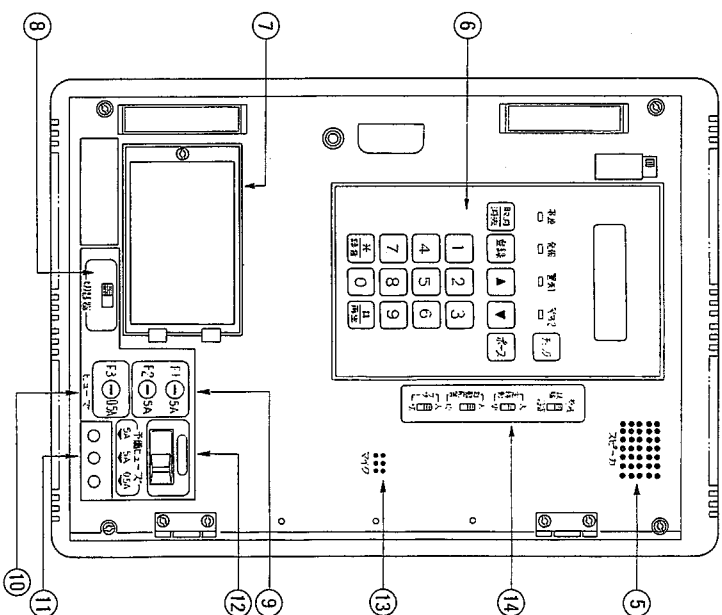
### ※2: 取付工事を行う担当者(資料マナログ第3種以上)のお名前、電話番号を記入して下さい。

# 本体各部の名称と働き

- ① LCD  
 システムメニューや通報動作中の宛先を表示します。通常は時計表示になっています。(注1)
- ② LED  
 1) 電源ランプ  
 2) 発報ランプ：通報動作が起動して電話回線を利用した時に点灯します。  
 3) 警戒ランプ：警戒モードの切替えにより1、または2のLEDが点灯します。
- ③ チェックボタン  
 警戒モード中に押すと、起動中のセンサー番号をLCDに表示します。
- ④ 施錠穴  
 扉の開閉時に使用するキー差し込み穴です。
- ⑤ スピーカ  
 ネットワークをモニタしたり、リモート制御時のスピーカ拡声に使用します。
- ⑥ 設定用ボタン  
 システムメニューを設定するときに使用します。  
 尚、「取消/消去」ボタンは、通報動作の取り消し操作及びセンサーの消去操作に使用します。
- ⑦ 電池ホルダー  
 停電用/バックアップ電池を収納します。
- ⑧ 切替器  
 電話回線をコルピスから切り離す場合に使用します。
- ⑨ ヒューズF1、F2(5A:2本)
- ⑩ ヒューズF3(0.5A:1本)
- ⑪ 予備ヒューズ(5A:2本、0.5A:1本)



- ⑨ 電源スイッチ  
 AC100V及び停電/バックアップ電池を同時に「入」、「切」にします。
- ⑩ スイッチ  
 ネットワーク線専用のスイッチです。
- ⑪ 切替スイッチ  
 1) 設定スイッチ：設定モード、警戒モード、試験モードのいずれかを選択するスイッチです。  
 2) 定時刻スイッチ：定時刻通報を使用する時、「入」にします。  
 3) 自動応答スイッチ：自動応答機能を使用する時、「入」にします。  
 4) フォーヌスイッチ：フォナー鳴動を停止する時「切」にします。
- ⑫ 電源スイッチ
- ⑬ スイッチ
- ⑭ 切替スイッチ
- ⑮ 設定用ボタン
- ⑯ ヒューズF1、F2(5A)
- ⑰ ヒューズF3(0.5A)
- ⑱ 予備ヒューズ
- ⑲ チェックボタン
- ⑳ 施錠穴
- ㉑ スピーカ
- ㉒ 電池ホルダー
- ㉓ LED
- ㉔ LCD



## 通報先電話番号の変更の方法

通報宛先の電話番号は、通報テーブル1(8宛先)、通報テーブル2(8宛先)に分けられて登録されています。本説明書の裏面、または添付の「システムデータ設定表」に記録してある現在の通報宛先電話番号を参照し、通報テーブル1(または2)の何宛先目を変更するのかを予め確認の上行って下さい。  
変更の方法は下記の手順にて行って下さい。尚、通報宛先電話番号の変更後は、控えとして変更登録した電話番号を本説明書の裏面、及び添付の「システムデータ設定表」に必ず記録して下さい。

例：

通報テーブル1の2宛先目(TELL1-2)の  
044-811-1111を044-811-4734に変更

### 操作手順

① 設定スイッチを「設定」側にすると、右図の表示になります。

*セッチイモード	
1：データ	2：メッセージ

② 数字ボタンの「1」を押すと、右図になります。

*データセッチイ	
1：ノーマル	2：ダイレクト

③ 数字ボタンの「1」を押すと、右図になります。  
(ノーマルを選択する操作)

TELL1-1	
—	

④ 「▼」を押すと、右図になります。  
(次へスクロールさせる操作)

TELL1-2	
0448111111	

⑤ 「取消/消去」ボタンを押し、データを一旦消去すると、右図になります。  
(TELL1-2のデータを消去する操作)

TELL1-2	
—	

⑥ 数字ボタンの「0」「4」「1」「4」「8」「1」「1」を押すと、「登録」ボタンを押すとデータが登録され、右図になります。

TELL1-2	
0448114734	

⑦ 以上で電話番号の登録が終了しましたので、設定スイッチを「警戒」側に戻して下さい。

### TELL1-3、TELL1-4、・・・TELL2-1、TELL2-2等に登録されている電話番号を変更する場合

上記の③項の表示の後、「▼」を押していく度に通報テーブルと宛先の指定箇所が順に進み、表示が変わっていきますので、変更したい所が表示されましたら⑤項以降の手順に沿って電話番号の変更を行って下さい。

## メッセージの録音と再生の方法

コルソスCS・D6は、予め16フレーズに分けてメッセージを録音し、その16フレーズから何フレーズかの組み合わせで一つの告知メッセージを作成します。  
したがって、録音の手順としては、まず16フレーズのメッセージを録音し、その上でデータ設定により各入力に対する告知メッセージを登録します。  
尚、最初に録音した各フレーズのメッセージは本説明書の「登録メッセージ記録欄」(13ページ)、及び添付の「システムデータ設定表」に必ず記録して下さい。

### 1) 各フレーズにメッセージを録音する方法

#### 操作手順

① 設定スイッチを「設定」側にすると、右図の表示になります。

*セッチイモード	
1：データ	2：メッセージ

② 数字ボタンの「2」を押すと、右図になります。  
(メッセージの録音を選択する操作)

*メッセージ	
フレーズNO?	

③ フレーズ01に録音する為、数字ボタン「0」「1」を押し、次に「登録」ボタンを押します。

*フレーズ01	
(注3)	

(注1)：録音済の場合は、\*が表示されます。  
(注2)：録音可能な残り時間が表示されます。  
(秒単位で2桁表示)

(注3)：録音時間が無くなった場合等、「ロクオンデキヤセン」を表示します。

④ ここで、録音を行う為、「\*」ボタンを押し続けながら、装置のマイク部分より10～15cm位離れて録音を行って下さい。  
「\*」ボタンを放すとフレーズ01への録音は終了して、フザーが鳴り次のフレーズ表示に移ります。

*フレーズ02	
(注3)	(注2)

⑤ 以降順に各フレーズに録音を行って下さい。

⑥ フレーズ14(または必要なフレーズ)まで録音が終了しましたら、設定スイッチを「警戒」側に戻して下さい。

■各フレーズに録音したメッセージの例

フレーズNo.	メッセージ内容
01	こちらは日通工です
02	発生しました
03	至急確認願います
04	異常ありません
05	定時通報
06	停電が
07	盗難が
08	温度異常が

左表には例として01～08までのフレーズの録音内容を記載しております。従って、このフレーズ数以上録音しても差し支えございません。

■登録メッセージ記録欄

フレーズNo.	メッセージ内容	録音時間
01		約 秒
02		約 秒
03		約 秒
04		約 秒
05		約 秒
06		約 秒
07		約 秒
08		約 秒
09		約 秒
10		約 秒
11		約 秒
12		約 秒
13		約 秒
14		約 秒
15		約 秒
16		約 秒

計 32 秒

■メッセージを再生する場合は

11ページの③項の表示の時に「#」ボタンを押すとフレーズ01のメッセージが再生されます。フレーズ01のメッセージ再生後は自動的に次のフレーズNo.(フレーズ02)の表示に移りますので、続けて再生を行う場合は「#」ボタンを押して下さい。また、フレーズ03以降のメッセージを再生したい場合は、「▼」を押して再生したいフレーズNoを表示させた上で「#」ボタンを押して下さい。

■メッセージを消去したい場合は

消去したいフレーズを選択し、「取消/消去」ボタンを押して下さい。ひとつ前のフレーズを自動的に再生し、表示されているフレーズ以降の全フレーズのメッセージが消去されます。一つのフレーズだけを消去する事はできません。  
消去するとブザーが鳴ります。

## センサー入力に対する告知メッセージの作成 及び登録方法

ここでは、各入力に対応する告知メッセージを作成してデータ設定を行います。告知メッセージは、11ページの1)項で録音した各フレーズの組合せにより作成します。

# 3

### 例：センサー入力1に

「こちらは日通工です(フレーズ01)。盗難が(フレーズ01)発生しました(フレーズ02)。至急確認願います(フレーズ03)。」(12ページの例より)

を登録する場合

#### 操作手順

- ① 設定スイッチを「設定」側にすると、右図の表示になります。

\*セッチイモード  
1:データ 2:メッセージ

#### LCDの表示

- ② 数字ボタンの「1」を押すと、右図になります。  
(データの設定を選択する操作)

\*データセッチイ  
1:ノーマル 2:ダイレクト

- ③ 数字ボタンの「1」を押すと、右図になります。  
(ノーマルを選択する操作)

TEL1-1

- ④ 「▼」ボタンを数回押し、右図の表示を出します。

センサー1メッセージ

- ⑤ 「0」,「1」,「0」,「7」,「0」,「2」,「0」,「3」を押し、次に「登録」ボタンを押すと、右図になります。  
(フレーズの組合せて告知メッセージを登録する操作)

センサー1メッセージ  
(注) → 01070203

- (注) 01070203の数字は、「1」各フレーズにメッセージを録音する方法」の項目で録音したメッセージのフレーズ番号(2桁)になっており、「01」「07」「02」「03」の順に再生されます。

以上の操作で、センサー入力1に対する告知メッセージとして「こちらは日通工です。盗難が発生しました。至急確認願います。」を登録した事になります。

センサー入力2にも、告知メッセージを登録する場合は、「▼」を押して、センサー2メッセージの表示を出してから、⑤項と同様の操作を行って下さい。センサー入力3以降の告知メッセージ登録も同様に行います。

全て登録が終了しましたら、設定スイッチを「警戒」に戻して下さい。設定スイッチが「試験」または「設定」のまま扉を開めると、装置のブザーが鳴動し設定スイッチの戻し忘れを警告します。

14

## 告知メッセージの変更及び追加の方法

センサー入力の種類の変更やセンサー入力の追加等により、すでに録音してあるメッセージの変更がある場合は、次の手順で操作を行って下さい。

# 4

例：

フレーズ07に録音した「盗難が」を、「緊急事態が」に変更する場合

#### 操作手順

- ① 設定スイッチを「設定」側にすると、右図の表示になります。

\*セッチイモード  
1:データ 2:メッセージ

#### LCDの表示

- ② 数字ボタンの「2」を押すと、右図になります。  
(メッセージの録音を選択する操作)

\*メッセージ  
フレーズNo.?

- ③ 変更したいメッセージのフレーズ番号を入力し、次に「登録」ボタンを押すと右図になります。(右図は、フレーズ07を変更する場合)

\*フレーズ07

- ④ ここで、「取消/消去」ボタンを押し、フレーズ07に録音されていたメッセージを消します。(右図)

\*フレーズ07  
(注) → 06  
(注)：録音可能な残り時間を示す

- (注) この時、フレーズ07以降の告知メッセージは全て消去されます。

- ⑤ 「\*」を押しながら「緊急事態が」と録音して下さい。「\*」ボタンを離せば、終了し、自動的に次のフレーズ08の表示になります。(右図)

\*フレーズ08  
(注) → 03

- ⑥ 上記の⑤項で消去操作を行っておりますので、フレーズ08のメッセージも消えています。従って、「温度異常が」をもう一度録音して下さい。

\*フレーズ08  
(注)：録音可能な残り時間を示す

- ⑦ 再録音が全て終了しましたら、設定スイッチを「警戒」側に戻して下さい。設定スイッチが「試験」または「設定」のまま扉を開めると、装置のブザーが鳴動し設定スイッチの戻し忘れを警告します。

### ■ フレーズのメッセージ変更により、センサー入力に対する告知メッセージを変更する必要がある場合

3. センサー入力に対する告知メッセージの作成及び登録方法」をご参照下さい。

15

## 日常の運用について

### ①「チエック」ボタンについて（警戒モードの切り替えを行う場合に使用）

日常戸閉まりを行う際、本体のLCD（表示部）の下にある「チエック」ボタンを押して、LCDに起動中のセンサ番号が表示されない事（本装置の8系統の入力に接続された各種センサが異常をキャッチしていない待機状態であれば、LCDには表示されません。）を確認して、警戒モードの切り替えを行って下さい。尚、警戒モードの切り替えを行わない場合は、この操作の必要はありません。

S- N100  
T1-000000000000 ←LCD

### ②通報動作の停止について

センサの誤動作や誤操作により通報が開始した場合、あるいは開始した通報動作を何らかの理由で停止させる場合は、本体の扉を開け「取消/消去」ボタンを押して、通報を停止させて下さい。

### ③リモート制御について

リモート制御とは、外部からセンサの異常の有無、マイク監視及び制御接点出力の駆動を、PB信号（ブザーホーン信号）により制御するものです。この機能を使用できる時は、自動応答（コルソスがかかってきた電話に対して自動的に応答する）時及び通報受信時のメッセージ休止時間内、臨場音送中です。リモート制御の使い方は下記のとおりです。

#### （1）外部からコルソスを呼び出してリモート制御する場合

①コルソスOS・D6につながれている電話番号へダイヤルします。

②コルソスOS・D6が自動応答し、あらかじめ録音した自動応答メッセージを流します。

③コルソスOS・D6から流れてきたメッセージ終了後、5秒以内に「\*」を入力し、電話番号（4桁）を入力し、「#」を入力した後、制御コードを入力して下さい。

制御コードは、「\*」+「コード番号（2桁）」+「#」となります。（17ページ参照）  
「\*」はこれから制御コードを送るといふ開始信号、「#」は制御コードの終わりを意味します。

この際、コード番号がエラー入力となった場合「ビッ、ビッ」と聞こえますので、もう一度「\*」を入力した後、コード番号と「#」を入力して下さい。また、該当する制御コードを受信した場合は「ビー」という確認音が聞こえます。

④リモート制御が終わりましたら、電話を切して下さい。

（注）この操作を行うためには、コルソスOS・D6を次の状態に設定しておく必要があります。

- 警戒モード2の状態に設定
- 自動応答スイッチ「入」に設定
- 自動応答待ち時間3秒以上に設定
- 不在メッセージを登録

#### （2）通報受信時にリモート制御する場合

通報宛先が、コルソスからの通報を受信した場合、メッセージの休止時間及び臨場音送中に表に示す制御コードを入力する事により、リモート制御が行えます。

#### ■制御コード（入力の方法＝「\*」+「開始コード番号」+「終了コード番号」）

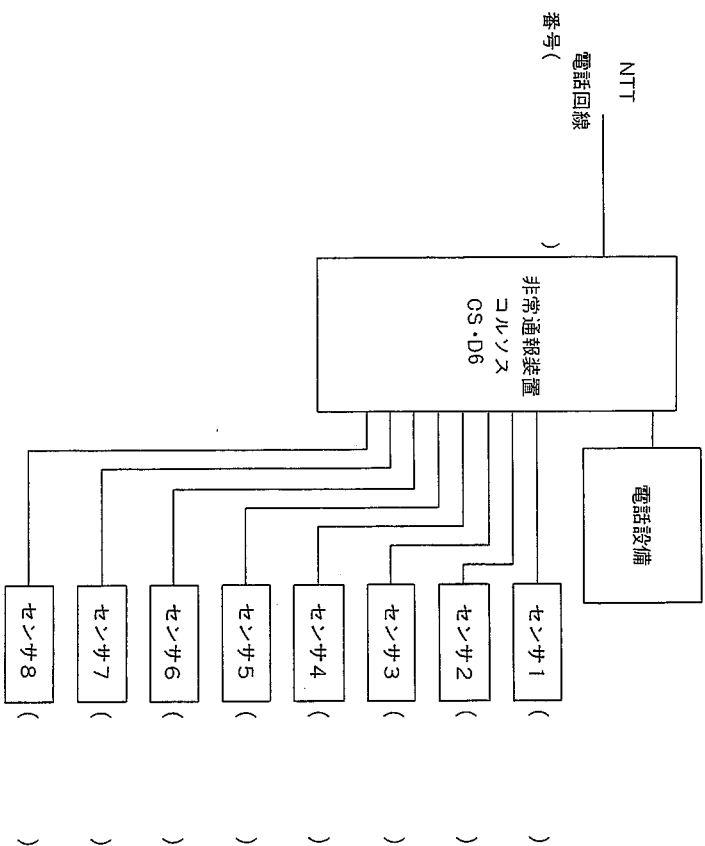
コード番号	制御内容	記事
01	センサが起動中か否かを確認	
02	(01はセンサ1を示します)	
03		
04	作動している場合は、通報メッセージを1サイクル送出します。	
05		
06		
07	作動していない場合は、フレーズ16	通常「異常なし」等を
08	を再生します。	録音
11	マイク監視	マイク1を選択
12	マイク2を選択	マイク2を選択
91	制御出力(接点)を1秒間マーク	
92	91:制御出力1, 92:制御出力2	
70	呼び返し動作 *70#を送出した後「*」+「電話番号」+「#」を2回連続送信します。装置側で2回連続同一の番号を受信した場合、リモート制御終了後上記指定の電話番号を自動ダイヤルし不在メッセージを送出します。	外部の電話機から本装置の通報機能を確認する場合に使用
80	スピーカ拡声 マイク監視を中継しスピーカをON	電話回線の音声を内蔵、外部スピーカでモニタ

（注）：制御コード「\*70#」（呼び返し動作）は、外部からコルソスを呼び出す場合のみ使用可能です。  
通報受信時にこのコードを入力した場合は、「ビッ、ビッ」というエラー音を送出します。

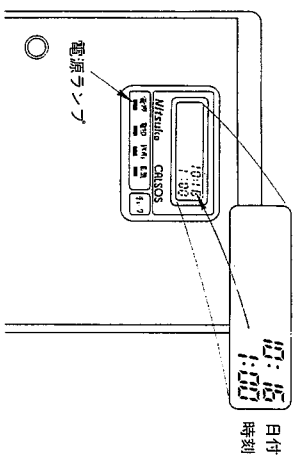
# コルソCS・D6 日常の点検方法

## ■ 接 続 図

お客様のコルソCS・D6には下図の電話回線、電話設備、センサーが接続されております。



No	点 検 項 目	点 検 方 法
1	定時刻試験通報	<p>毎(日・週・月) <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> 分頃コルソから電話がかかってきます。</p> <p>電話にでますと次の様なメッセージが繰返し30秒間、聞こえますのでご確認ください。</p> <p>『コルソの定時刻通報です。異常なし。』</p> <p>次の場合には下記連絡先へ点検、修理をご依頼ください。</p> <p>① コルソから電話がかかって来なかったとき</p> <p>② かかってきてもメッセージが</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞こえない</li> <li>・ 小さい</li> <li>・ 内容が違う</li> <li>・ 雑音が入る</li> </ul>
2	電源ランプ及び日付、時刻の確認	<p>〔コルソ本体前面において〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日付(月、日)と時刻(時、分)が正しく表示されているかご確認ください。</li> <li>・ 電源ランプが点灯しているか確認ください。</li> </ul> <p>次の場合は下記連絡先へ点検、修理をご依頼ください。</p> <p>① 月日、時刻の表示が違うとき(月差±15秒)</p> <p>② 電源ランプが点灯していないとき</p> <p>コルソのAC電源コードのプラグはコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。</p> <p>次の場合はAC電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込みをなおしてください。</p> <p>AC電源コードのプラグが</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンセントから抜けているとき</li> <li>・ コンセントから抜けかけているとき</li> </ul>
3	電源プラグの確認	



# アフターサービスについて

①保証書（別に添付してあります）

保証書は当社取扱店からお渡しいたしますので、購入日などの記入事項をお確かめになり、内容をよくお読みの上大切に保管して下さい。

保証期間は、ご購入の日から1年間です

②故障等で修理を依頼される時は、下記の点をお調べの上、なお異常のある場合には、当社取扱店にご連絡下さい。

- 電源コードがコンセントから抜けていませんか。
- ヒューズが切れていませんか。
- 切替器は「装置」側になっていませんか。（通常は「装置」側にセットされています）

## 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名（事業所）・電話番号
  - ご購入日（保証書をご覧下さい）
  - 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
  - 訪問ご希望日
- ③ その他ご不明な点はご購入店または当社窓口にお問い合わせ下さい。

## 電池の交換

コルソスCS・D6には、停電・不測の電源断に備える為の充電電池が実装されています。

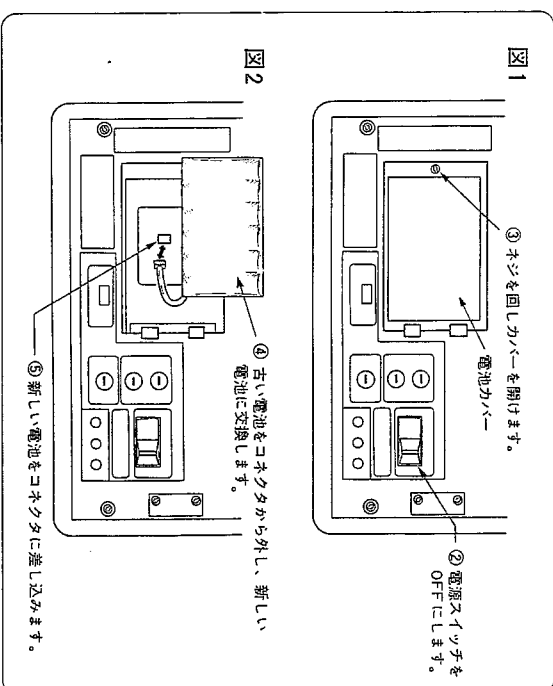
電池の寿命、品種、取替え方法は次のとおりです。

### 充電電池について

- 完全充電に要する時間は約48時間です。したがって、常時完全充電状態にする為、ACアダプタはコンセントから絶対抜かないで下さい。
  - 電池は完全充電状態で6時間の停電に耐える容量を持っています。
  - 電池の寿命はおおよそ2～3年でですが、停電時の動作を確実に行為せる為、2年毎に交換して下さい。
  - 電池の規格は次のとおりですが、品種・価格・価格・購入方法等についてはご購入店または当社窓口までお問い合わせの上早めにご手配して下さい。
- 電池規格：14.4V（1.2V×12本）500mAh

## 交換方法

- ①装置のカバーを鍵で開けると図1の部分が見えます。
- ②電源スイッチをOFFにします。
- ③電池カバーのネジを回し、電池カバーを開けます。
- ④図2のように古い電池をコネクタから外し、新しい電池に交換します。
- ⑤新しい電池のコネクタをしっかりと差し込んで下さい。
- ⑥以後、電源スイッチをONにし、電池カバーを閉め、装置のカバーを施錠して、元の状態に戻して下さい。
- ⑦交換年月を下記の「停電用バッテリー交換記録表」に記入して下さい。



### 停電用バッテリー交換記録表

コルソスCS・D6	設置工事	年	月
停電用バッテリーの交換	1回目交換	年	月
	2回目交換	年	月
	3回目交換	年	月
	4回目交換	年	月

本装置の設置後、2年毎に停電用バッテリーは交換して下さい。